

まちづくり実践者トークイベント

私 × 誰か

つながるまちづくりのヒント 



住み、働き、楽しみ、交流できる、持続可能で魅力ある郊外住宅地の形成を目指した、**多様な主体をつなげるまちづくりの取組「ハマノワ」**のスタートアップイベントとして、**まちづくり実践者トークイベント「私×誰か 一つながるまちづくりのヒント」**を令和6年3月10日に開催しました。

イベントには企業・事業者やNPO・任意のまちづくりグループ、学校等、様々な団体等にご所属の方30名ほどにご参加いただき、盛況のうちに終了しました。

【日 時】 令和6年3月10日（日）13:30～16:00

【場 所】 横浜市役所1階市民協働推進センタースペースAB

【テーマ】 多様な主体の「つながり」による
持続可能で魅力的なまちづくり

【プログラム】 ・まちづくり実践者による活動事例紹介
・パネルディスカッション ・交流タイム



事例紹介

まちづくり実践者の3名の方に、企業として、NPOとして、住民として、様々な立場から、企業と住民、企業と学校、NPOと地域住民等が連携したまちづくり活動の事例をご紹介します。

株式会社solarcrewの河原勇輝さんからは、地域の人たちと取り組む、空き家問題や防災の課題解決につながるコミュニティ拠点Yわい広場の事例等をご紹介します。

また、ご自身が地域と関わりはじめた時の経験談や、半径2キロ圏内から仕事がくるような地域密着型の企業の取組の面白さ・大切さをお話いただきました。

[solar crew HP \(https://solarcrew.jp/\)](https://solarcrew.jp/)



空き家をコミュニティスペース及びコワーキング・スペースにリノベーションしたYわい広場



河原勇輝さん
(株)solarcrew COO

株式会社スリーハイの男澤誠さんからは、住宅と工場が混在する地域の課題と魅力向上に向けた「まち探検」の取り組みや、自社のショールーム兼工場の一部を活用した地域に開かれた工場カフェ「DEN」から広がる活動事例等についてご紹介いただきました。

また、地域の課題を「自分ごと」とし、企業市民として「地域とともに生きること」に向き合う姿勢をお話いただきました。

[スリーハイHP \(https://www.threehigh.co.jp/\)](https://www.threehigh.co.jp/)



地元企業のものづくりの魅力や地域で働く大人の姿を小学生に伝える「まち探検」



男澤誠さん
(株)スリーハイ 代表取締役

NPO法人霧が丘ぷらっとほーむの武藏幸恵さんからは、ヨコハマ市民まち普請事業により整備したコミュニティカフェ「ぷらっとkiricafe」の事例を紹介いただきました。

活動をはじめきっかけとなった、人とのつながりや地域の居場所の大切さについての想いや、コミュニティカフェをきっかけとした国籍・世代を超えたつながりによってうまれている取組についてお話いただきました。

[霧が丘ぷらっとほーむHP \(https://www.kirigaokaplatform.com/\)](https://www.kirigaokaplatform.com/)



シニア世代×こども、外国人×シニア世代などの多世代・多文化交流拠点「ぷらっとkiricafe」



武藏幸恵さん
NPO霧が丘ぷらっとほーむ
総括責任者(現 共同代表)

パネルディスカッション・交流タイム

ヨコハマ市民まち普請事業の協働事務局を務める高橋利道さんをファシリテーター、事例紹介発表者の3人の方をパネリストに、「**持続可能で魅力的なまちづくりを進めていくためのつながりの生み出し方・広げ方**」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。

つながる相手の見つけ方・集め方

パネリストの体験談から以下のような、つながる相手の見つけ方・集め方のヒントをいただきました。

- 少しずつ顔の見える関係性をつくることで活動が広がったこと
- 自分も他の人も一緒に活動を楽しむことが人集めにつながる
- 地域や企業が困っていること・やりたいことに巻き込まれることで、信用が生まれ、自分がやりたいことに相手を巻き込むことができる

地域×企業の取組

持続可能な活動のためには地域と企業の連携が重要な取組の一つであるという話題から、まちづくりにおけるボランティア精神と経営の視点のバランスの難しさについてもお話いただきました。



交流タイムでは、登壇者や参加者同士の活発な名刺交換・情報交換が行われました。

「ハマノワ」では今後もまちづくり活動に関わる方のつながりづくりのきっかけとなるイベント等の取組を進めていきます。